

平成27年度行政事業レビューシート（厚生労働省）

事業名	独立行政法人国立循環器病研究センター設備整備費補助金			担当部局庁	医政局			作成責任者	
事業開始年度	平成25年度	事業終了 (予定) 年度	平成27年度	担当課室	医療経営支援課			課長：佐藤美幸	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-4-1 政策医療を向上・均てん化させること				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条第1項			関係する計画、 通知等	平成26年2月7日厚生労働省発医政0207第2号「平成25年度独立行政法人国立循環器病研究センター設備整備費の国庫補助について」 平成27年2月6日厚生労働省発医政0206第7号「平成26年度独立行政法人国立循環器病研究センター設備整備費の国庫補助について」				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立循環器病研究センター(以下「国立循環器病研究センター」という。)の設備の整備のために要する経費を補助することにより、高度専門医療に関する研究等を行う独立行政法人に関する法律(平成20年法律第93号)第14条の業務の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	独立行政法人国立循環器病研究センターについて、国際水準の質の高い治験・臨床研究が確実に実施される仕組みを構築するため治験・臨床研究体制を整備し、また、予防・診断・治療法のモデル開発推進のための体制を整備する。								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-		
		補正予算	-	474	347	-			
		前年度から繰越し	-	-	474	347			
		翌年度へ繰越し	-	▲474	▲347	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	474	347	0		
	執行額		-	-	474				
	執行率(%)		-	-	100%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	治験・臨床研究体制及び予防・診断・治療法のモデル開発推進のための体制整備の完了年度数		治験・臨床研究体制及び予防・診断・治療法のモデル開発推進のための体制整備の完了数	成果実績	件	-	0	1	
				目標値	件	-	1	2	1
				達成度	%	-	0%	50%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	治験・臨床研究体制及び予防・診断・治療法のモデル開発推進のための体制を整備			活動実績	件	-	0	2	
				当初見込み	件	-	1	2	1
単位当たり コスト	算出根拠				単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト = X / Y			単位当たり コスト	百万円	-	-	474	347
	X:「当該年度執行額」 Y:「当該施設数」			計算式	X/Y	-	-	474/1	347/1
平成27・28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	-		-	-					
	計		0	0					

事業所管部局による点検・改善						
項 目			評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国立循環器病研究センターが実施する研究は、他の研究者が実施しない又はできない研究①国民の健康に重大な影響のある疾患のうち、国として早急又は積極的に対応する必要があるという判断した研究②難治性・希少性の疾患に関する研究③中長期に渡って継続的に実施する必要がある疫学的なコホート研究や、専門領域における相当数の症例の積み重ねにより明らかとなった新たな科学的知見を踏まえ、治療指針(ガイドライン等)を作成・改訂するための研究等、その成果の普及及び政策の提言につながる研究)を通じ、国との密接な連携の下、我が国の政策課題となっている脳卒中、心臓病等の循環器病に対する高度専門的な医療の開発及び確立、人材育成等を行っていることから、国が実施すべき事業であり、事業の優先度も高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	同上		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	同上		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	毎年、「独立行政法人の契約状況の点検・見直し」のフォローアップを行い、契約方法の検証をしていることが確認できているため、妥当と考える		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	独立行政法人評価委員会(高度専門医療研究部会)の評価を行っており、適正であると考ええる。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	独立行政法人評価委員会(高度専門医療研究部会)の評価を行っており、適正であると考ええる。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備された設備については、当センターの事業目的に沿って、活用されている。		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	「事業番号090:国立研究開発法人国立循環器病研究センター運営費」運営費交付金は研究・臨床基盤経費等の費用であり、建物等の整備費用である施設整備費とは重複しない。		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	厚生労働省医政局医療経営支援課	90	国立研究開発法人国立循環器病研究センター運営費			
厚生労働省医政局医療経営支援課	新27-006	国立研究開発法人国立循環器病研究センター施設整備費				
点検・改善結果	点検結果	上記のとおり、点検したところ、現段階では特段問題はないものとする。なお、予算が繰り越されているので、計画どおりに執行されるよう注視していく必要がある。				
	改善の方向性	計画どおりに執行されるように注視していく。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	平成25年度補正予算の事業については、平成26年度に繰り越され、適正な執行がされている。また、平成26年度補正予算の事業については、平成27年度に予算が繰り越されていることから、引き続き、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	94			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
474百万円



独立行政法人国立循環器病研究センター
474百万円

【一般競争入札等】
A.治験・臨床研究体制整備事業
(株)アズバイオ 他 192百万円

【一般競争入札等】
B.予防医療の調査研究の推進等
(株)ネットワンシステムズ 他 282百万

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.株式会社アズバイオ			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
設備費	第三世代シーケンサーシステム一式	127			
計		127	計		0
B.ネットワンシステムズ株式会社			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
設備費	データセンター第三層用アプライアンス型仮想化基盤サーバー等	12			
設備費	データセンター第二層用アプライアンス型仮想化基盤サーバー	11			
設備費	循環器病統合情報センターDMセンター用サーバー	10			
設備費	脳卒中DB用サーバー	10			
設備費	JROAD院内データマート用サーバー	9			
設備費	データセンター第3層用ストレージ	7			
設備費	データセンター第2層用ストレージ	7			
設備費	データセンター用UPS	2			
設備費	第2. 3層用L3スイッチ用モジュール	2			
設備費	データセンターストレージ用L2スイッチ	1			
計		71	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社アズバイオ	第三世代シーケンサーシステム一式	127	2	-
2	日本ハイオセナース株式会社	カーディアックスキャナーシステム	65	1	-

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ネットワンシステムズ株式会社	データセンター第三層用アプライアンス型仮想化基盤サーバー	12	2	-
2	(支出額71百万円)	データセンター第二層用アプライアンス型仮想化基盤サーバー	11	2	-
3		循環器病統合情報センターDMセンター用サーバー	10	1	-
4	三井情報株式会社	循環器病統合情報センターシステム基盤構築	65	3	-
5	株式会社リーディング・エッジ社	ゲノムオミックス解析基盤導入等業務	50	3	-
6	(支出額51百万円)	ゲノム・オミックス計算機接続L2スイッチ用SFPモジュール	0.7	少額随意契約	-
7	SCSK株式会社	SASライセンス更新	19	3	-
8	株式会社ダンテック	新利用者管理システム改修等業務	13	随意契約	-
9	(支出額16百万円)	ファイル転送システム改修等業務	3	随意契約	-
10		REDCap用OS Redhat Linux ライセンス更新 4式	0.3	少額随意契約	-
11	日本電気株式会社	健康診断システム導入	10	1	-
12	株式会社健康保険医療情報総合研究所	JROAD-DPC連携に向けたDWH環境構築等業務請負	6	随意契約	-
13	インターシステムズジャパン株式会社	SOA基盤システムライセンス	5	1	-
14	新大阪商会	統計解析室用ワークステーション	3	1	-
15	(支出額5百万円)	健康診断システム用OCRソフトウェア	0.8	少額随意契約	-
16		新利用者管理システム・ファイル転送システム改修用Windows Serverライセンス 7式	0.6	少額随意契約	-
17	大興電子通信株式会社	データセンター仮想化基盤用VMwareライセンス	4	3	-

注) 落札率については、他の契約の予定価格を類推されるおそれがあり、また、センターの事務若しくは事業に支障が生じるおそれがあるため、国立研究開発法人国立循環器病研究センター契約事務取扱細則第42条に基づいて公表しない。